

ひろしまの 土地改良



2025年 第279号



未来へつなごう!ふるさとの水土里 ^{みどり} 子ども絵画展2024
MAEDAちきゅうとみらい賞
『カラフル模様のカメ』 近藤 麗愛

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

広島県土地改良事業

(水土里ネットひろしま) 団体連合会

会長 木山 耕三

副会長 奥田 正和

副会長 上田 浩司

常務理事 吉田 隆行

理事 三村 裕史

理事 箕野 博司

理事 福岡 誠志

理事 箕田 英紀

理事 松田 一馬

理事 枝廣 直幹

理事 入江 嘉則

理事 平谷 祐宏

代表監事 高垣 廣徳

監事 今榮 敏彦

監事 久川 廣昭

理事 仲伏 英雄

外職員一同

令和七年元旦

新年のごあいさつ



みどり
水土里ネットひろしま
広島県土地改良事業団体連合会
会長 木 山 耕 三

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

会員並びに関係者の皆様には、日頃より土地改良事業の円滑な推進と農業・農村の振興、並びに本会の運営につきまして、格別なご理解とご支援を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

近年における世界の食料需給の変動、地球温暖化の進行、我が国における人口の減少、農業及び農村をめぐる諸情勢の変化を踏まえ、食料・農業・農村基本法の改正法が昨年5月29日に成立、6月5日に公布・施行されました。

改正法では、「食料安全保障の確保」「環境と調和のとれた食料システムの確立」「農業の持続的な発展のための生産性の向上」「農村における地域社会の維持等」を柱として、基本理念が見直されるとともに関連する基本的施策が定められております。

生産条件の不利な中山間地域を多く抱える本県においては、農業従事者の減少や高齢化、担い手の不足、荒廃農地の増大、生産資材の価格高騰など、農業・農村を取り巻く情勢は更に厳しさを増し、極めて深刻な状況にあります。基本法の改正を受け、農業の構造転換を今後集中的に推し進めていくための施策の充実と強化に期待しております。

本県の農業が将来にわたり持続可能な魅力のある産業であり続けていくためには、多様な人材の育成・確保を進めるとともに、ほ場の大区画化、水田の汎用化、畑地化、集積・集約化、スマート農業の導入など、農地の整備や適時適切な農業用水利施設等の保全・管理、機能強化が必要です。

また、近年、多発化・激甚化する自然災害に対し、防災・減災対策を強力に推進し、安全・安心な農村地域の暮らしを守るための、国土強靱化への取り組みがこれまで以上に重要となっております。

このためにも、農業の生産基盤や農村の環境基盤を着実に整備する必要があると、計画的な農業農村整備事業の推進が不可欠と考えます。

本会と致しましては、長年培ってきた技術と経験を最大限に活かして、「国の基」である農業の持続的発展と、食と活力ある農業・農村の実現に向け役職員一丸となり取り組んで参ります。

本年も一層のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、皆様の益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

令和7年1月

新年のごあいさつ



広島県農林水産局長

おおはま きよし
大 濱 清

輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

皆様には、平素から本県の農業・農村の振興に多大な御貢献を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年1月1日に発生した令和6年能登半島地震や全国的な異常気象の増加に伴う豪雨災害などにより、公共施設や農地・農業用施設の損壊など甚大な被害が発生しています。

また、世界人口の増加や、国内では、燃料・資材・飼料など生産資材の価格高騰、農業人口の減少など、農林水産物の食料需給の変化と生産の不安定化が増す中、国において食料・農業・農村基本法が改正され、新たな基本法に基づく食料・農業・農村基本計画の策定に向けた議論がなされているところです。

こうした農業を取り巻く環境が大きく変化している中、県といたしましては、農業農村整備事業により生産性や収益性の向上を可能とする生産基盤の整備を進め、農業の担い手と地域が連携して、持続的な農業生産活動ができるようにしていくことが重要であると考えております。

このため、農地の大区画化や畦畔法面の緩傾斜化、また、園芸作物の生産に不可欠な排水対策などの基盤整備により、スマート農業技術を十分活用できる環境を整え、地域の担い手への農地集積による生産性向上やICT技術を活用した管理省力化、高収益作物の導入などによる収益性の確保を実現して参ります。

また併せて、日本型直接支払制度の活用などにより、農業・農村が持つ国土保全や水源かん養などの多面的機能を維持・発揮させていく体制づくりへの支援を推進していくとともに、計画的かつ効率的な保全管理に取り組んで参ります。

さらには、気候変動の影響により、災害の頻発化、激甚化が顕著となっていることから、地域で安心して暮らしていけるよう、防災・減災対策を強化することも必要です。とりわけ、本県に多い防災重点農業用ため池の防災・減災対策につきましては、迅速な避難や管理強化などのソフト対策と、補強や廃止などのハード対策を一体的に推進して参ります。

このような、農業基盤の整備、農地や農業用施設の保全対策並びに防災・減災対策などの農業農村整備事業を着実に進めていくうえでは、国、市町並びに土地改良区をはじめとした、関係の皆さまの御理解・御協力が不可欠でございます。本年も引き続きの御協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、10月には広島市で「安全・安心、持続可能な農村地域のため池」をテーマに、「ため池フォーラムinひろしま」を開催する予定です。特別講演会や現地見学会などを計画しておりますので、多くのご参加を心よりお待ちしております。

終わりにになりましたが、農業農村の振興と皆様方の今後ますますの御健勝と御活躍を祈念いたしまして新年の御挨拶といたします。

令和7年1月

農業農村整備の集い

令和6年11月5日(火) 東京・平河町のシェンバツハ・サポーにおいて、「農を守り、地方を創る予算の確保に向けて」のキャッチフレーズのもと、要請集会が開催されました。

当日は、衆参両院の国会議員、全国の土地改良関係者が参集しました。

財務省や農林水産省に対する要請文が満場一致で採択され、盛会のうちに終了しました。



ため池支援センター便り 「2024ため池フォーラムinあきた」が開催されました!

ため池は農業用水の供給のほか農村景観の形成等、地域にとってかけがえのない存在となっています。その恩恵を後世に引き継ぐことを目的として、「ため池の恩恵を後世へ～先人の叡智と新たな技術の融合～」をテーマに令和6年11月7日～8日に、秋田県秋田市において「2024ため池フォーラムinあきた」が開催されました。広島県土地改良事業団体連合会からは、ため池支援センター職員3名が参加しました。

フォーラムは神部秀行秋田県副知事による開会挨拶の後、進藤金日子参議院議員による来賓挨拶、宮崎雅夫参議院議員より「ため池工事特措法の制定」の情報提供、農林水産省農村振興局防災課中司昇吾課長補佐より、ため池防災・減災対策の説明、記念講演として秋田県立金足農業高等学校野球部監督である中泉一豊先生による農業教育と高校野球を通じた人材育成について講演がありました。さらに、土地改良区の方による、ため池の利活用や遠隔操作による取水ゲート開閉を行う水管理等の事例発表がありました。最後に、広島県農林水産局楨原敏幸農林基盤整備担当部長からの次回開催県挨拶により幕を閉じました。

11月8日には、現地において遠隔操作による水管理の事例について見学会が催されました。また今回のフォーラムを通じて、ため池の諸課題を同じくする自治体職員及び各県の支援センター職員の方々との意見交換を行ってきました。

次年度は、広島県においてため池フォーラムが開催されます(令和7年10月23日～24日)。フォーラム開催に向け、広島県土地改良事業団体連合会も協力していきますので、皆様奮って参加をお願いします!



ため池フォーラム



現地視察

ひろしま水土里ネット女性の会 現地研修会

ひろしま水土里ネット女性の会は、令和6年11月14日、水土里ネット福山(福山市土地改良区)の協力により現地研修会を福山市内で実施し、広島県内各地から水土里ネットに携わる会員他関係者37名が参加しました。

講師には、安芸高田市の原山土地改良区の田島あゆみ理事、高宮町すだれ土地改良区の本多正樹理事を迎えて、田島氏は、自身が当地区に移住し子育てをしながら酪農をしてきた経緯や国内の酪農業の現状などについて、本多氏からは自身が経営する(農)ハラダファームの事業に加え、近年創業された(株)Rev0が実践する「Jクレジットに関する取組」について講義を受けました。

意見交換では、参加者を5つのグループに分け、テーマは特段定めず会員同士によるフリートーク形式で進めました。

午後からは、現地視察を行い最初に水土里ネット福山の杉原常務理事が、都市近郊農業を展開する市街化区域に囲まれた農業振興地域での団体営「農地耕作条件改善事業」に関する取組みについて説明されました。

続いて、当地区の総代であり小林洋蘭の代表の小林政夫氏から、ハウスで胡蝶蘭などの洋蘭を栽培する福山地域の生産者の動向や、一年を通して温度調整をするため、「電気代や燃料費の高騰が大きな負担になっている」ことなどをお聞きしました。

今回の研修は、女性の会設立後、初めての現地研修会でしたが、参加者からは「他の土地改良区と交流する場が今までなかった」「水利形態が違っても賦課徴収など共通する課題も多く意見を聞いて参考になった」等の感想が寄せられ、会員相互の交流を深める良い機会となりました。



未来へつなごう! 子ども絵

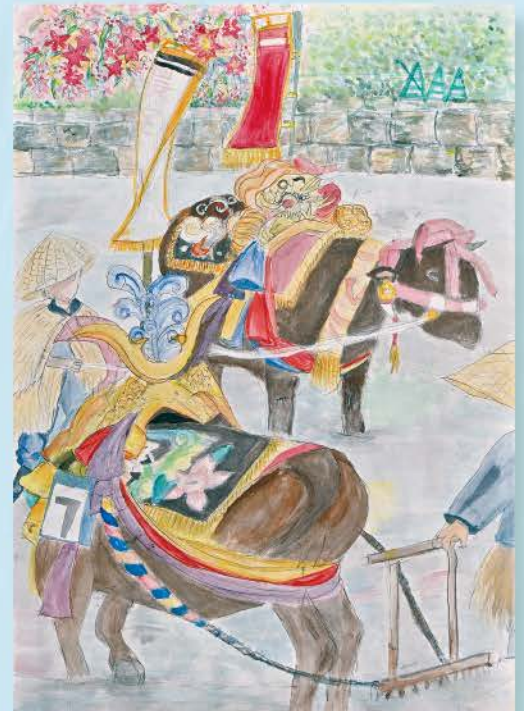
「未来へつなごう!ふるさとの水土里(みどり)子ども絵
画展 2024」に全国各地から多数の作品が寄せられ、
全3,068作品の応募の中から、入賞32作品、地域団体
賞53作品、入選146作品が決定しました。広島県からは、
入賞1点、地域団体賞2点、入選11点が選ばれました。



MAEDA ちきゅうとみらい賞

「カラフル模様のカメ」

近藤 麗愛 (学校法人三光学園 千鶴幼稚園)



水土里ネット祇園
八木用水賞

「壬生の花田植」

安藤 和花
(広島市立緑井小学校)



水土里ネット福山
優秀賞

「いろいろな緑の畑」

藤田 湊
(福山市立新涯小学校)

ふるさとの水土里 画展 2024

入選



「白い大根 赤い大根」
天野 沙映 (広島市立天満小学校)



「どうもろこし つくったよ」
木村 奈央 (学校法人 杉原学園 松永幼稚園)



「なかよし いちご」
石井 葵
(学校法人三光学園 千鶴幼稚園)



「かたつむりのお散歩」
甲斐 日菜
(学校法人三光学園 千鶴幼稚園)



「カニとザリガニとドジョウがいっしょにあそんでいるよ!」
寺西 律樹
(学校法人三光学園 千鶴幼稚園)



「トマトの収穫」
北岸 陽翔
(学校法人 杉原学園 松永幼稚園)



「カニに乗せてもらったよ」
羽原 優月
(学校法人三光学園 神辺千鶴幼稚園)



「大好きなジジ 大好きな畑」
大村 姫生
(学校法人 杉原学園 松永幼稚園)



「ひいおばあちゃんがつくった瀬戸内レモンとみかん」
松岡 海翔
(学校法人 杉原学園 松永幼稚園)



「はっぱにのったカエル」
渡邊 裕一
(広島信望愛学園 聖母幼稚園)



「田んぼに、おにぎりができたよ」
松岡 虎太郎
(福山市立新渚小学校)

第46回全国土地改良大会千葉大会の開催

令和6年10月22日(火) 大会テーマ「ふさの国から飛び立て 水土里の恵み 力強く 未来に繋ごう水土里の礎」のもと、全国から約4,000名の農業農村整備事業関係者が千葉県千葉市幕張メッセに参集しました。

国の礎である農業を支える土地改良施設を守り、農業・農村の重要性を共有し、水土里の礎を力強く未来に繋いでいくことを高らかに宣言し、次回開催となる第47回全国土地改良大会佐賀大会に引き継がれました。大会式典中に行われた令和6年度土地改良事業功績者表彰では、全国土地改良事業団体連合会長表彰を東広島市土地改良区理事長の仲伏英雄氏が受賞されました。



全国土地改良大会 会場(千葉幕張メッセ)



土地改良事業功績者表彰
仲伏 英雄氏

日本型直接支払制度次期対策に関する説明会 開催

令和6年10月17日(木)に農林水産省農村振興局の担当者が来県され、広島県土地改良会館において、土地改良区、広島県土地改良事業団体連合会、市町、県の関係者を対象に令和7年度から次期対策に移行する日本型直接支払の制度内容についての説明会が開催されました。

地域振興課の渡部洋己課長補佐からは「中山間地域等直接支払交付金」について、農地資源課の柳澤健太係長からは「多面的機能支払交付金」について、それぞれ次期対策のポイントや制度概要等の説明があり、その後、意見交換を行いました。

広島県では、引き続き、農業・農村の多面的機能の維持・発揮を図るため、地域の共同活動、中山間地域等における農業生産活動、自然環境の保全に資する農業生産活動への取り組みを支援して参りますので、日本型直接支払制度の積極的なご活用をよろしくお願いいたします。



出展:広島県多面的機能支払協議会ホームページ